

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2018 夏
vol. 20



土を耕し、種を播き。ネットをかけたり、雑草をとったり。太陽と雨の恵みと、作り手の愛情を受けて育つ夏野菜。(体験農園 in 岩名)

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「ろくすけの庭に棲む者たち」	
□3～5月の現場レポート	…4	□千葉シニア自然大学	
・主催事業		「自然と俳句講座」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業	…7	松田料理長のおすすめ	
□こんなことにチャレンジしています！		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□7月～10月 CNS ネットワークイベント情報	…8	□スタッフのつぶやき	

一灯照隅

理事長 飯田 洋

今年の夏は、どんな気候になるのか、今から気を揉んでいます。

自然現象のこと、どうこう心配したところで、どうにもならないことは、十分承知していますが、仕事柄何かと気になっています。

この冬のラニーニャ現象は、日本だけでなく世界各地で寒波や豪雪をもたらし、住民生活に重大な影響をもたらしました。

春先には、このラニーニャ現象も消えるとの報道もありましたが、気象庁の見通しでは、夏には平常の状態になる可能性が70%とのことです。

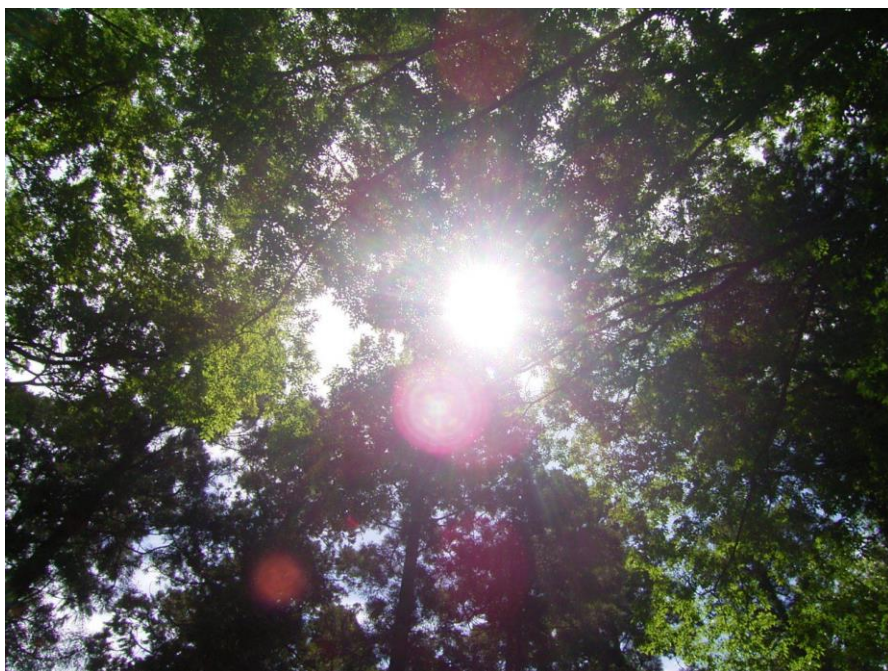
また、日本近海では、黒潮の大蛇行が発生し、これまで水揚げされていた漁獲物が無くなったなど、漁業にも影響があったようです。

南米ペルー沖の海水温が数度変化することで、北半球の気候に大きく影響があるという、人知が及ばぬ自然の営みの奥深さに畏敬の念を抱いています。

近頃、気候や天文・宇宙など、自分たちの生活に影響のある自然現象について、もっと深く知りたいとの思いが、これまで以上に強くなってきたように感じています。

自然学校に関係して10年以上になりますが、日々の生活を通して自然を考えて来たことが、影響しているのかも知れません。

「疑問に思ったことは調べてみる」、意外と楽しい時間です。



「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。
このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

「やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」人を育てる金言といわれる山本五十六の言葉だと聞きます。我が身を振り返ってみると【やってみせ】…一番伝わると思っています。しかしその時間を作っていない。【言って聞かせて】…的を得た話をしているのか反省するところ。【させてみて】…うまくできるか心配で結局自分でやってしまうことも。経験のチャンスを奪っているかも？【ほめてやらねば】…結果だけでなくプロセスも褒めることでできていませんね。

頭では理解できていても実行がなかなか難しいです。最近では、相手の「認知特性」に合わせて教え伝える必要性が言われています。認知特性は、生まれながらにある程度決まっているようで「視覚優位者」「言語優位者」「聴覚優位者」があります。まずは、相手の認知特性を知らなければなりません。

そのためには、もっとコミュニケーションをとらないといけませんね。とりあえず一緒に食べて、話して、遊ぶことから始めます。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「子育て世代の田舎暮らしのススメ」

今、日本の人口の5割以上の人々は東京圏、名古屋圏、大阪圏の三大都市圏に住んでいて、今後もその割合は増加傾向にあると予測されています。過密と過疎のギャップを埋めるものが、田舎への移住です。田舎暮らしに関する情報（書籍やホームページ）は様々なものが出されています。ただ、なぜ地域の過疎化は止まらないのでしょうか？

田舎暮らしのデメリットについて考えてみました。①仕事が少ない。（給料が安い？）。②車は生活必需品。③地域の行事や集まりが多い。④虫が多い。しかも、虫が大きい。



ただ、デメリットがメリットになる場合もあります。①仕事は少ないが、なくはない。自然豊かな環境の中で働ける！②満員電車と違って、車通勤は楽！③地域の行事などで、地域の人とのつながりが出来る！④自宅周辺で昆虫採集が出来る！

私は南房総市千倉町に住んでいますが、夏になると自宅の網戸にカブトムシがくっつきます。また、車で10分移動すれば写真のようにきれいな海で遊べます。「どこに住むか」は「いかに生きるか」ということ。海、山、川、森…、環境があれば子どもは自然に遊びます。「田舎で子育てしたい」という方が増えるといいなあと考えています。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

キャンプの方や散歩の方、釣りの方…公園には年間を通してたくさんの方がいらっしゃいます。皆さん「自然がたくさんいいところですね」とおっしゃってくれます。が、はたしてどこまでこの大房岬の自然を見て、触れて、感じて、知ってくれているのかは、いつも疑問に思ってしまうのです。何となく公園を散歩して、見るだけで終わってしまう方が多いようです。

ただ、自然が多くて景色がきれいな公園ではなく、いかにこの公園にたくさんの面白い生きものが生きているのか、そんな事を感じて、知ってもらえるような取り組みを今年度はやって行きたいと思っております。

園内の看板の設置、遊び方ガイドの作成、ビジターセンター展示室のプチリニューアル等々。

少しずつ、少しずつ取り組んで行っておりますので、公園に遊びに来た際にはぜひ色々とのぞいて見て下さい。



③④⑤月の現場レポート「主催事業」

週末・子ども

パティシエキッズキャンプ③ ストロベリー・ストロベリー

3/3(土)~4(日) 君津市 君津亀山少年自然の家 幼児・小学生
◆苺狩り/苺ジャム作り/苺ケーキ作り



天気に恵まれ、春を感じるあたたかい気候のなか、キャンプを実施することができました。

ロマンの森共和国でのいちご狩りでは、旬の甘い苺をたくさんいただくことができました。4種類の苺を食べ比べたり、お友達と美味しい苺を教え合ったりと、自分でとって食べる楽しみも感じることが出来ました。

いちごケーキ作りでは、生地を混ぜたり、薪をくべてふっくら焼いたり、仕上げのデコレーションまで、みんなわくわくしながら作りました。でも真剣に作る姿は、立派なパティシエでした！

どの班もこだわりの一品が完成！味は全員が美味しいと大満足でした。大好きな苺を自分の手でさらに美味しく変身させることができました。また、班の中で自分のできることを精一杯に頑張る姿が印象的でした。

今回のプログラムを通して、美味しいものを自分で作る喜び、みんなで作る楽しさを感じてもらえたことと思います。これからもクッキングに積極的にチャレンジしてほしいと思います。

日帰り・シニア

房総を歩こう！ 房総の古道を歩く！⑦

3/17(土) シニア

◆JR九重駅/手力雄神社/真野大黒



3月17日(土)、H29年度最後の「房総の古道を歩く」は、春爛漫の南房総を歩いて来ました。

参加者21名のみなさんがJR九重駅に集合。今回の山稜には、「千倉街道」や「白浜道」が重なり、真野寺付近にはかつての巡礼道を歩くなど、趣にとんだコースとなりました。

参加者のご厚意により、お寺に関わりのある方をご紹介いただき、真野寺の説明を聞いたことや、途中に立ち寄った手力雄神社でも地元の方によるお話をいただけるなど、心温まるできごとがありました。

お弁当の時間、ザックの中から淹れたてのコーヒーをポットで運ばれた方がいらっしや、みんなびっくり！ありがとうございました。

素敵な人々との出会い、今年度を締めくくる古道歩きとなりました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

週末・大人

ボランティア ボランティアリーダー研修会

3/16(金)~18(日) 君津市 君津亀山少年自然の家

ボランティアリーダー

◆リスクマネジメント/ネイチャーゲーム/レクリエーション指導



ボランティアリーダーを対象に研修会(2泊3日)を開催しました。身体も心も安全なキャンプの為に、実技と座学を交えながら、みっちり3日間を過ごします。

1日目は「レクリエーションゲーム」「イニシアティブゲーム」「リスクマネジメント」。2日目は「ロープワーク」「イニシアティブゲーム」「テント・タープ設営法」「野外炊飯」「キャンプファイヤー」「テント泊」。3日目は「カウンセリング論」「リスクマネジメント(フィールドワーク)」を学びました。

学ぶときは、真剣に、楽しむ時は、本気で楽しむ。自分が体験したからこそ、伝えられる気持ち大切にしています。変化する自然環境に対応しながら、1日野外で活動も体験しました。

自分の体験を子どもへの指導に還元できるよう、実践して学ぶことの繰り返しです。みんな、仲間と作り上げるキャンプが大好き。子どもの成長がみられるキャンプが大好き。そんなボランティアリーダーです。

週末・親子

ファミリープログラム① 親子 de カヌートリップ

4/28(土)・29(日) 君津市 亀山湖 親子

◆カヌー体験

今年度新企画、親子の日帰りイベントを実施しました。新緑に囲まれた広大な湖をひとかき漕ぎ出せば、冒険心をくすぐる大パノラマの自然が出迎えてくれました。

カヌーで湖に出るまでは不安もあったと思いますが、徐々に身体の使い方にも慣れてきて、家族ごとゆったりと楽しむ様子が印象的でした。目標地点の鳥居も、皆さんの上達がとても早く順調に到達。最後は、亀山湖特有の「ジャングルクルーズコース」の入り口まで行きました。

子どもからは「また家族でいたい」、親御さんからは「子どもの方が飲み込みが早く、上手で驚きました」等のお声をいただきました。ほとんどの参加者の方がカヌー初体験でしたが、皆さん楽しんでいただけたようでした。

活動中、「お母さん頑張れー！」と応援する子の声や、漕ぎ方を熱心に子に伝えるお父さんの姿も随所に見られました。子どもからすると、普段とは違うお母さん、お父さんの姿は新鮮でいつもより、かっこよく見えたのではないのでしょうか。

楽しさや大変さを同じ場で共感できていることが、本当に嬉しそうなお子さんの姿も印象的でした。



日帰り・シニア

房総を古道を歩く! 房総の古道を巡る①

5/12(土) シニア

◆上総松丘駅/三本陣屋/松丘コミュニティセンター/上総富士

H30年度、3年目を迎えた房総の古道を歩くが始まりました。

今回目指したのは「上総富士」です。参加者14名のみなさんがJR君津駅に集まりました。

今年度は亀山湖を中心に古道巡りを楽しむ予定です。

歩き始めは久留里線・上総松丘駅ここから川越藩の三本陣屋に向かいます。

房総の山中、安房と上総を分ける山域に多くの番所跡が点在します。

各番所に向かう本陣が三本陣屋。ここから上総富士または大阪富士へ登っていきます。

山頂前の鳥居で待ちに待ったお弁当タイムです。鳥居先の激坂には参りましたが、みな山頂に到着。

みなさんお疲れ様でした。

木陰でコーヒータイムを楽しみ、帰途につきました。



週末・子ども

チャレンジキッズ① はじめてのお泊りキャンプ

5/26(土)~27(日)君津市 君津亀山少年自然の家 幼児・小学生

◆森のアスレチック/春のフラネタリウム/アウトドアクッキング

下は年中から上は小学4年生まで、参加者のほとんどが初めて親元を離れてのお泊りでした。

キャンプに参加することでも大きな一歩を踏んだ子ども。新緑が綺麗な森でのハイキング・アスレチックでは、不安な気持ちもどこへやら、思い思いに自然とのふれあいを楽しんでいました。

楽しさを共有し、どんどんとお友達の輪を広げていく子どもにはいつも驚かされます。

全員で協力してつくったカレーライス。野菜を切る、米を研ぐ、火をおこす、それぞれの役割を一生懸命に頑張り、時には年上の子が年下の子を助ける場面も随所に見られました。

活動中は、自分のことは自分でやろう！まずはやってみよう！を合言葉に、様々なはじめてにチャレンジしました。

そんなみんなの姿はどこか頼もしく、自分で「できた！」という達成感で、素敵な笑顔にあふれていました。



「ネットワーク・受託事業」

受託事業：CSRサポート 「コスモの森 整備イベント」

コスモ石油株式会社のCSR事業の一環として管理をしている「コスモの森」。この森を、小学校での環境教育の場として活動できるようにするために、5月12日（土）に社員の皆様と千葉自然学校職員とで整備を行いました。

時には100名規模の活動になることもあります。毎年参加してもらえる方もおり、顔なじみになっていただけるのも嬉しく。また、見る見るうちに散策路がきれいに整備されていく様は壮観です。

整備の後は、今年入社された方の紹介と、社員同士の親睦を兼ねてBBQを行うのが毎年の流れ。千葉自然学校からはBBQの他にも、特別メニューの山菜炊き込みごはんやお味噌汁、燻製を提供させていただきました。

暑くすら感じる晴天の中の活動でしたが、目標としていた整備場所をしっかりと仕上げることができました。今年も整備を終えた自然あふれる森で市原市の小学生34名が森探検を予定しています。

(文：飯塚伊予／まりも)



体験農園

「農園講習会」

佐倉市にある岩名運動公園の隣に開設した体験農園 in 岩名も、今年で5年目を迎えました。この体験農園は、千葉シニア自然大学OBの佐藤研二さん、地元団体の佐倉みどりネット、そして千葉自然学校の三者が協同で運営しています。約30区画ある畑は満員御礼。継続されている方、新たに参加された方も交えて、今年も野菜作りが賑やかにスタートしました。



講師に農業大学の清宮先生をお招きし、まずは植える野菜の特徴や、作付け方法を学びます。大学さながらの内容と、実体験に基づいたノウハウに感心しながらメモをとられる方も。その後、実演区画でのデモンストレーションを見て、自分の畑で実際に作業を行います。

畝の高さ、土の深さ、ネットの掛け方など、細かなところまで質問され、みなさん真剣に、丁寧に作られています。

全員で集まる講習会を終えると、あとの毎日の収穫と手入れは各自にお任せです。

雑草の勢いに圧されつつも、小さな種からこんなに大きく、こんなにたくさん育つ野菜に驚かされている様子。苦労した分、また採れたて新鮮な美味しさを実感していただければと思います。

夏、野菜収穫の最盛期を迎えます。(文：石井智子／かみい)

会員校サポート

「環南みんなの楽校①そら豆の収穫&ピザ作り・田植え体験」

環南みんなの楽校は平成20年に「富津市立環南小学校」が廃校になったことを契機に、志駒・山中地区の地域住民が主体となり、千葉自然学校と富津市農林水産課が協力の下、立ち上げられた団体です。

「旧環南小学校を観光交流拠点として活用することにより、地域の活性化を図る」ということを目的とし、活動しています。

平成25年には「地域住民」と「NPO（千葉自然学校）」「行政」の連携モデル事業として「ちばコラボ大賞」を受賞しました。

環南小学校周辺の自然環境（志駒川渓谷など）を活かした「里山の自然ならでは」のイベントを、親子を対象に年間6回実施しています。

今年度は5月に「そら豆の収穫とピザ作り 田植え体験」を行い、9月には「稲刈り体験と川遊び ドラム缶風呂」を予定しています。ご興味のある方は、「環南みんなの楽校」で検索してみてください。(文：庄司達哉／しゅれっく)



■こんな取り組みもしています■

いろいろリニューアル★

千葉自然学校のホームページを5月1日にリニューアルオープンしました！また、このニュースレターもカラーに♪自然学校の取り組みや、会員校の情報、募集イベントなど、よりわかりやすく情報発信していこうと思います。

《 指定管理施設の主催事業 》

南房総市大房岬自然の家

「ツリーイング&森のターザン遊び」

今年もツリーイング&森のターザン遊びを実施しました。ツリーイングとは、樹にかけられたロープと専用ハーネスを使い、登っていく新感覚のアウトドアです。2日間にわたり大房岬で実施しました。

天気も良く、樹の上にかけてられたハンモック「ツリーモック」にも乗ることができ、「ここに1泊したい!」という声も。

また、森の中に設置した巨大ブランコやハンモックなどのターザンコースも満喫しました。気持ち良く登れ、達成感もあり、体験する前と後では皆さん表情が違います!大房岬の新しい遊び方として定着しつつある、ツリーイング、是非皆さんも体験下さい。



また、今回講師を務めてくださった、TMCA(ツリー・マスター・クライミング・アカデミー)さんでは、毎月第4日曜に、東京ドイツ村内のジージの森でツリーイング体験を行っていますので、こちらも是非チェックしてみてください!

(文:白井健/ネギ)

千葉県立大房岬自然公園

「カエル調査隊」

5月13日(日)、大房岬自然公園の主催事業、岬レンジャー「カエル調査隊」を開催しました。子どもがレンジャーとなって公園の生きもの調査を行います。今回はその中でもカエルに焦点を当てた回。公園の中の2つの池、モーリー池とドーナツ池を中心にカエルの調査をします。ドーナツ池にはアズマヒキガエルのオタマジャクシがびっくりするほど池一面にいて、子どもはびっくりしていました。

モーリー池の方では、子どもが必死になってモリアオガエルの成体の捕獲に成功しました。捕まえた瞬間、大歓声!



今回は、9月2日(日)に開催となります。夏ならではの生物を探したり、自然を楽しめる内容となっています。また、みなさんとお会いできることを楽しみにしております!

(文:工藤圭/しんちゃん)

こんなことにチャレンジしています!

「会員校まわり」

千葉自然学校は、ネットワーク型自然学校として『自然体験活動を通して千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指す』という趣旨に賛同頂いた県内の体験活動団体を中心とした団体の皆様が、『千葉自然学校ネットワーク会員校』としてネットワークを形成し、環境保全や地域振興を図ることを目的として設立されました。

設立から15年経ち、現在34団体の正会員、6団体が賛助会員に加盟頂いております。加盟頂いている団体とのネットワークといっても、会員校は組織の大小や職種、目指すべき方向性も様々です。

ネットワーク会議や、エリア毎の部会、仕事においての連携で関われる会員校はその時に情報共有等を行い、会員校同士の連携も行われることもあります。

しかし、関わるのが少なく、少し縁遠くなっている団体もいます。そこで、昨年度から「会員校まわり」を実施させて頂いております。実際、団体へ出向き、状況やニーズ、課題など伺います。今年度は8団体実施しました。会うことで、話すことで、わかることがたくさんあります。

その他にも、サンショウウオを見つかったり、ヤゴから羽化したばかりのトンボを見つかったり、子どもならではの視点で様々な生きものの調査を進めていきました。

今回も有意義な調査ができました。

たのしい岬レンジャーたちです。(文:山口亮介/こめ)



千葉県立君津亀山少年自然の家

「森っこあそベンチャー ~春の森遊び♪~」

5月6日(日)今年度1回目の「森っこあそベンチャー ~春の森遊び♪~」を開催しました。対象は4歳~6歳の未就学児。お父さん、お母さんに元気よく“行って来ます!”のあいさつをして、みんなできみかめの春の森探険に出発しました。

森の中には険しい上り坂もありますが、ロープをしっかり握り締めて、子どもは身体をうまく使いながら一生懸命頑張って山頂まで登りきることが出来ました!

森の中には子どもにとって不思議が詰まっています。いっぱいいろいろな形の葉っぱや木のぼっこなど、お気に入りの宝物も見発見することが出来ました。

お昼ごはんをゆっくり食べた後は、ゆったりハンモックでゆらゆら揺られながら遊んだり、巨大芝生で段ボールの芝すべりをしたりなど、まったりタイムを楽しみました。

次回、9月2日(日)に開催となります。夏ならではの生物を探したり、自然を楽しめる内容となっています。また、みなさんとお会いできることを楽しみにしております!

(文:工藤圭/しんちゃん)

熱い想いや素晴らしい取り組みに触れる度、刺激を頂くことも多くあります。

要望においては、できる限り繋いでいく努力をという思いでおります。しかし、次の世代を担う後継者問題のような課題は、そう簡単に解決できることではありません。

時が流れ、体制が変わり、状況が変わっていく中で、少しでもネットワークがあるから出来ること...を目指していければと願っています。

(文:谷慶子/けろっぴ)



CNS ネットワーク ⑦⑧⑨⑩月のイベント情報



7月

2018年度沖ノ島・サンゴに出会える スノーケリング体験プログラム

夏の沖ノ島は、東京湾に生きている北限域のサンゴを観察でき、様々な水中の生き物や魚たちと触れ合う事が出来る貴重なフィールドです。

「浅い・コース」と「アマモ・コース」と「深い・コース」の3つのプログラムを開催します！

各コースとも、十分な練習を行い、海の中の様子を自分の目で見る事が出来るプログラムです。

【開催日】7月初旬～9月初旬

【時間】午前の部 10:00～12:30
午後の部 13:30～16:00

【参加費】1人 3,500円

【連絡先】NPO法人たてやま・海辺の鑑定団

TEL & FAX : 0470-24-7088

E-mail : umikan@lapis.plala.or.jp

シュノーケリングで魚と泳ごう！

南房総の里海で楽しむシュノーケリング体験です。

マスク・スノーケルの着脱から始め、水に慣れ、リラックスして海に体をあずけてみる…すると海が身近なものに感じられてきます。

海の世界をのぞく、そして泳ぐと、身近な里の海にも色々な魚や生きものが暮らしていることを感じることができます。

【開催日】7月26日(木)

【対象】小学3年生～中学3年生

【参加費】一般 7,000円、会員 6,500円

【応募締切】7月18日(水)

【会場】千葉県鋸南町・南房総市

【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ

TEL : 0470-55-8322 E-mail : toi-awase@elfin-ee.com

木彫りの小鳥を作ろう

加工しやすい「バルサ材」を使って、ウグイス・メジロ・スズメ・シジュウカラなど身近な野鳥の姿を再現してみましょう。

丸板に枝を固定して止まり木も作ります。

【開催日】7月28日(土)

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,100円

【会場】館山野鳥の森(館山市)

【連絡先】館山野鳥の森

TEL : 0470-28-0166 FAX : 0470-28-0187

夏休みだ！ひたすら虫捕りをしよう！山賊体験

里山や水田で昆虫を探したり、川で釣りをしたり、ひたすら森で遊んで虫取りをします。

夏の農村で1泊2日の田舎の自然体験を満喫してみませんか？

【開催日】7月28日(土)～29日(日)

【参加費】大人 8,000円、小学生 5,000円、
3歳以上小学生未満 4,000円

【会場】大山千枚田と周辺の森と川(鴨川市)

【連絡先】大山千枚田保存会

TEL : 04-7099-9050 FAX : 04-7099-9051

E-mail : info@senmaida.com



8月

夏休みネイチャークラフト教室

①板②リース③小枝のミニスタンド：木の実や枝など、自然の素材を使った工作体験。

④木の実の標本作り：木の実は、自分の子孫を残すために、飛ばしたり、転がったり、動物に食べさせたりと様々な工夫をしています。木の実とラベルで標本作りに挑戦です。

⑤丸太切り：杉の丸太をノコギリで切ります。切る時の感触や匂い、木の固さなどを体験してみてください。切った木はコースターやプレートにして使えます。

【開催日】8月1日(水)～8月31日(金)

【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】①板：600円②リース：1,200円③小枝のミニスタンド：600円④木の実の標本作り：600円⑤丸太切り：200円
※森の宿「せせらぎ」にご宿泊の方は、参加費が半額になります。

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森

TEL : 04-7095-2821 FAX : 04-7095-2822

オリジナル時計作り

時計盤に自然素材(木の実や貝殻)を装飾して、オリジナルの掛け時計を作ります。

【開催日】8月4日(土)

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,600円

【会場】館山野鳥の森(館山市)

【連絡先】館山野鳥の森

TEL : 0470-28-0166 FAX : 0470-28-0187

夏のスペシャルウィーク「さとの夏遊び」

ガサガサ、竹とんぼ、昆虫観察など、さとの夏遊びをしましょう！
※当日受付

【開催日】8月9日(木)、10日(金)、11日(土)

【会場】千葉県いすみ環境と文化のさと(いすみ市)

【連絡先】千葉県いすみ環境と文化のさと

TEL : 0470-86-5251 FAX : 0470-86-5252

謎解き冒険キャンプ

頭も身体もフル稼働！アドベンチャー型謎解きに挑戦だ！

自然の中は、不思議がいっぱい。自ら体験し、知恵を出し合い、チームで謎解きに挑戦しよう。

岬の海と森を駆け巡り、4日以内に全ての謎を解くことができるかな？

仲間と一緒に自然豊かな岬をまるごと楽しむストーリーキャンプです。

【開催日】8月17日(金)～20日(月)

【対象】小学生

【参加費】会員 39,800円、一般 42,800円

【会場】大房岬自然公園(南房総市)

【定員】45名(最少催行人員 24名)

【交通】貸切バス

【集合/解散】JR千葉駅NTT前 (8:00/17:00)
大房岬自然公園 (10:00/15:00)

【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校

TEL : 043-202-7070 E-mail : yacs-camp@chiba-ns.net



9月

クラフトバンドを使った小物作り Part 1

クラフトバンドを使ってメロン型のかごを作ります。インテリアや贈り物にもご利用いただけます。

【開催日】9月8日(土)

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,000円

【会場】館山野鳥の森(館山市)

【連絡先】館山野鳥の森

TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

谷津田のお米作り～稲刈り～

谷津田のお米作り・山系イベント。たわわに実った稲穂を刈ろう!

【開催日】9月8日(土)&9日(日)※各日帰帰

【対象】どなたでも(未就学児・小学生は親同伴必須)

【参加費】大人2,500円 小学生1,000円※未就学児は無料

【会場】上総自然学校(袖ヶ浦市)

【連絡先】上総自然学校

TEL: 0438-75-7414 E-mail: satoyama@shinko-ji.jp

オータムキャンプ

天高く馬肥ゆる秋!自然の中で、友だちと力を合わせて、タープやテントを張り、美味しい料理をつくり、2泊3日のキャンプを楽しもう!

【開催日】9月22日(土)～24日(月祝)

【対象】小学4年生～6年生 5～6名

【参加費】13,000円

【会場】東国吉遊育の森(JR菅田駅から車で10分)

【連絡先】市津・ちはら台自然楽校

TEL: 0436-52-0076 E-mail: akamatsu@forest.ocn.ne.jp

草木染め体験

自分でデザインをして、布を自然の色で染めてみましょう。

【開催日】9月29日(土)

【持ち物】剪定バサミ、作業できる服装、弁当、飲み物

【参加費】1,600円

【会場】千葉県いすみ環境と文化のさと(いすみ市)

【連絡先】千葉県いすみ環境と文化のさと

TEL: 0470-86-5251 FAX: 0470-86-5252

みんなでキャンプ

初心者でも安心。テント張りから野外炊事(新メニュー)、竹の食器作り、団旗作り、ネイチャーゲームなど、みんなで楽しい時間を作りましょう。

【開催日】9月29日(土)～30日(日)

【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】大人3,600円 4才～中学生2,200円

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森

TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

かずさの森薬草園無料開放

38年間、森とともに歩んだ実体験と、健康につながる森とのかかわり方とは!? 質疑応答あります。健康に関する疑問もどうぞ。薬草、薬木ガイド付きです。

【開催日】9月30日(日)

【参加費】無料

【会場】かずさの森 薬木園

【連絡先】森林塾かずさの森

TEL & FAX: 0439-35-2114

E-mail: info-kfs@kazusanomori.com



10月

手打ちうどん作り

家庭でもできる手打ちうどん作りを体験します。竹を削って箸も作り、茹でたてのうどんを自作の箸でいただきます。

【開催日】10月6日(土)

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,000円

【会場】館山野鳥の森(館山市)

【連絡先】館山野鳥の森

TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

『古城址ハイキング』より久留里浅間山から新旧久留里城

内田栄一氏の著書より「久留里浅間山から新旧久留里城」コースを内田氏の案内で歩きます。

【開催日】10月26日(金)

【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1人1,500円

※森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森

TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

竹かご教室(入門) ①②③④ 全4回開催

竹取り、ひご作りから始めて4回終了までに完成させましょう。

【開催日】10月27日(土)、28日(日)、11月3日(土)、4日(日)

9:30～16:00

【対象】高校生以上、全4回参加できる方

【持ち物】竹用ナタ、竹ひきノコ、植木バサミ、膝あて、軍手、弁当

【参加費】通し参加費1,200円

【会場】千葉県いすみ環境と文化のさと(いすみ市)

【連絡先】千葉県いすみ環境と文化のさと

TEL: 0470-86-5251 FAX: 0470-86-5252



6月～10月

沿岸イルカウォッチング

銚子の海に定住しているイルカ「スナメリ」に会いに行きます。なかでもこの夏の時期は、スナメリが出産と子育ての為に集まってくるので、仔イルカを連れた親子のグループや群れに出会えます。

【開催日】6月1日～10月31日

【出航時間】

(7月)①11:00 ②13:30 ③15:30【3便】

(8月)①9:00 ②11:00 ③13:30 ④15:30【4便】

(9・10月)①11:30 ②14:00【2便】

【会場】銚子海洋研究所(銚子市)

【対象】3才以上 定員30名

【参加費】大人3,500円(高校生以上) 小人2,500円(小学生～中学生) 幼児1,500円

<お問い合わせ>

【連絡先】有限会社 銚子海洋研究所

TEL: 0479-24-8870

<http://www.choshi-iruka-watching.co.jp/index.html>

★他にも楽しいイベントもたくさん!

Webをチェック! 検索



『ろくすけ日和 『ろくすけに棲む者たち』』

千葉自然学校では、築190年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

夏が近づき、生きものの動きが活発になってきています。今回はその中でも特に動きが大きい生きもの、ろくすけ周辺に棲む「哺乳類」を紹介します。

ろくすけ周辺にはネズミやノウサギ、タヌキ、ハクビシン、アナグマなどの小～中型からイノシシなどの大型まで、実に多くの哺乳類が生息しています。日中は見かけることは少ないのですが、夜になるとろくすけの庭からは「ガサガサ、バキッ！」と茂みを歩く音や枝を折る音、鳴き声がほぼ毎日聞こえ、とても賑やかになります。また夜の運転の際は、車のライトの正面をノウサギやタヌキが一生懸命走ったり、アナグマが道路の真ん中でおなかを広げて寝ている様子なども見られ、ちょっとしたナイトサファリパークのような気分が味わえます。

そんな夜の道でも会いたくない生き物もいます。それが「イノシシ」です。基本イノシシも人間が怖いのであまり近寄ってきませんが、夜の道路を横切ったり地面を掘っている姿を度々目撃します。



南房総市では生息数が多く、例年3,000頭以上が捕獲、駆除されています。生息数は減少傾向にあると言われていますが繁殖力が強く、また駆除する人材が不足しているなどで大きく数を減らすのが難しくなっています。

さらに近年ではろくすけ周辺にはいなかったはずのタイワンリスやニホンザルを見かけ、キョンやシカの鳴き声も聞こえるようになりました。サルは作物の味を覚えたら田畑を荒らしたり、キョンやシカは蹄でヒルを媒介するなど、獣によってあらたな生活の被害が生じる可能性があります。

里山は動物たちの生活の場でもありますが、この風景も鳥獣外問題によって変わっていつてしまうかも知れません。そんな一面があるということ、ろくすけや平久里を訪れる方々にお伝えできればと思います。

(文：かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地/だいすけ)

千葉シニア自然大学 「自然と俳句講座」

去る5月23日、3年目の講座が船橋会場で開講した。講師は俳句歴30年の平栗瑞枝先生。実は自然観察のプロでもあり、シニア自然大学と同じく「自然」を希求するお人。今年の受講生は、基礎コースで自然を体系的に学んだOBに一般の数名が加わった16名。5～11月の間、月に一回午前10時～12時半と計6回の講座である。

講義はまず、予め無記名で提出した5句ずつの作品を順不同に並べた俳句一覧表を手に、受講生が1番から85番まで大声で読み上げ、不明難解な箇所についての質疑応答から始まった。

次に、各受講生が良かった句や感動した句を10句ずつ選び、続いて先生も句数に制限なく、受講生期待の普通選句と特選句を公表する。こうして各句が得た点数が計算されると、高得点句について選者が感想を述べた後、ようやく作者が名乗りを挙げて、作句の動機や過程を開陳して、講義の前半が終了した。自分以外の句に出会い、種々見聞きし言い合うこのプロセスが結構身となり、肉が付くのを覚える。

暫し休憩の後、先生の講評が始まった。まず全般的に“中身を入れ過ぎ”との指摘、なるほど手許に配られた添削済み一覧表は何時にも増して赤線・朱筆が多い。

各句についての講評は特選句、普通選句、その他の順に、率直な感想や様々な角度からの指摘が時間一杯吐露された。俳句という文芸上の心得や決まりもさることながら、自然や風土の有るべき姿から点検しての疑問や否定を差しはさむケースも多く、五七五以上の事毎を学ぶ機会でもあると強く感じる。

最後に、次回講義(6月20日)に向けて、季節感を先取りした兼題が示され、平素習作に勤しみ、6月7日までに事務局あて作品5句を無名で提出頂くという軽い宿題をお願いして、初回講義が無事終了した。

(文・写真：岩崎康昌)



講義の冒頭、ご挨拶する飯田理事長

みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの料理のお話～

梅雨入り前、「ろくすけ」の梅林で梅拾いをした。青梅は煮梅に、黄ばんだ梅はジャムにするつもりだ。

上手に草むらに落ちた梅は、傷もなくゴルフボールを少し小さくしたくらいのもので、きれいな実だ。黄ばんだ梅には時折誰かがかじったような小さな痕がある。虫だろうかそれとも小鳥だろうか？かじったら酸っぱくて慌てて食べるのをやめたのだろうか？そんなことを想像しながら拾ってゆくと、たちまちバケツが一杯になった。成木だからこその収量だ。前の家主さんのご家族の誰かが、家族の食卓のために、一年分の梅干しや梅の加工品が確保できるようにと考えて植えてくださったものだろう。



農村の家々には、一代では作り上げられない食料確保の配慮があり、敷地内は豊かな食の宝庫になっている。こんな家々が今捨てられようとしている。

人生100年時代といわれるが、家族数百年の継承は今風前の灯火、なんとか長年の知恵と成果を時代に継承してゆくすべはないだろうかと思う。

拾った梅で作った梅ジャムに醤油を少し入れて、スペアリブを一晚浸けてオーブンで焼いた。

さわやかな酸味が脂身とうまくマッチして、向夏の食卓に喜ばれた。

(文：遠藤陽子／サニー)

松田料理長のおすすめ～夏バテ対策～

夏のからだの体調を良くするために大切なのは、からだを冷やさない食事です。からだを温める効果のある食材は、しょうが・にら・にんにく・ごま・みそなどです。

後は、バテているからといって、食事を抜いたり、一回の食事量を減らしてしまうことにも注意しましょう。特に朝食は抜かないようにした方がいいです。また、からだのだるさを解消するためには、フルーツが効果的です。

栄養素的には、タンパク質とビタミンB群とビタミンCとミネラルが必要で、タンパク質は、血液やホルモンなど、からだのもととなる栄養素です。ビタミンB群は、糖質やタンパク質や脂質といった栄養素の分解を助けます。ビタミンCは、紫外線のダメージによる活性酸素を除去し、疲労を回復します。ミネラルは、代謝を助ける働きがあります。

これらの観点からみても、やはりすごいと思われるのは、旬の食材の茄子・ピーマン・トマト・ゴーヤ・オクラ・胡瓜の効果です。その中の茄子の料理を紹介したいと思います。(文：松田光央)

<茄子とピーマンの味噌炒め>

【作り方】

- ①茄子とピーマンを程よい大きさに切る。
- ②フライパンに油をひいて、豚小間を炒め、少しお酒を入れて、茄子を入れて炒める。
- ③最後にピーマンを入れて、八割ぐらい火が通ったら、味噌と砂糖を入れて炒める。
- ④お好みでゴマ油を入れてもOK。



●団体会員（34団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団、「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、(株)かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock(ライブストック)、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちば里山センター、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のこころファーム、(一社)森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(有)銚子海洋研究所、東京クラシッククラブ、ワイズスノー&アウトドアスクール

●賛助会員（6団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家(千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月)
(南房総市の施設として平成20年4月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園(平成18年4月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家(平成20年4月～)



千葉県立大房岬自然公園



南房総市大房岬自然の家



千葉県立君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」(平成16年5月～)
- ・千葉県立中央博物館ミュージアムショップ(平成26年4月～)

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

■先日、相模湾で釣船を営む実家で、何十年ぶりにこれまでで一番大きな新造船が進水しました。新調の大漁旗を一杯に靡かせた新船の就航をお祝いするために、相模湾や東京湾の同業者、常連のお客様などがたくさんの駆けつけてくれました。亡き両親や若くして亡くなった兄や弟のことを思い出し、胸が熱くなりました。故郷を離れて50年以上、幾つになっても気にかかるものです。(オーシャン)

■6月「ろくすけ」農泊オープン。情報発信を心がけます。(サニー)

■長袖から半袖へ。季節の変化が激しい時季になって来ました。(ボクサー)

■ホトトギスの鳴き声が多くなった。托卵する鳥に育児放棄の社会が重なって見える。

(ぺったん)

■「失敗」と「成功」の体験、どちらも大切。限られた日数(キャンプ)の中、どうバランスとろうか?(たこはち)

■想いがなければ、何も生まれない。信頼がなければ、何も始まらない。想いを共有し、信頼しあえる関係づくりを。(けろっぴ)

■海に行きたい!最近頭の中はそればかり。釣りやビーチコーミングがしたいのです。

(かつを)

■夏の太陽のように、心からからだにパワーがみなぎってきます。人も自然の一部でしょうか。(のりべん)

■慌ただしい毎日ですが、新しいことに挑戦して変化を楽しみたいです。(らうす)

■駐車場の猫!あくびをしている場合じゃない!夏だ!キャンプだ走るぞ!!(さぼてん)

《編集後記》

映画「ピーターラビット」を見ました。原作とかけ離れている?いや結構忠実で。うさぎや動物から畑を守る人間を応援してしまう畑人のサガ...でも可愛いもふもふにも癒されます。おすすめです!(かみい)

認定NPO法人を目指して～ご寄付お願い～

寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご支援いただける方はぜひご支援ください。

▼振込先(郵便局)▼

【郵便振替口座番号】00170-5-259431

【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校

▼振込先(銀行)▼

千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275

特定非営利活動法人 千葉自然学校

【寄付金額】3,000円より

※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター(年4回発行)

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

